

取り組み
イベント



ココを味わう

多くのボランティアが日々丹精する庭

病院で活動するボランティアは約400名。うち、15名ほどがガーデニング活動に関わっている。暑い日も、雨の日も、休日も、決して無理はせず、しかしコツコツと作業を続ける。その成果である豊かなガーデンは、不安な気持ちで病院を訪れる人、近くを通る人など、多くの人にやすらぎを与えている。



13年前、活動の始まりとなった「ジェントルガーデン」。小雪のちらつく中、患者さんに少しでも良い環境をと、皆がスコップ片手に土作りを始めた、思い出の庭だ。



平成7年に当地に移転した市立札幌病院。ボランティアの会「やさしさ・ジェントル」は、その年に結成、翌年から本格活動をスタートした。



ココを味わう

活動から生まれる 豊かな発想

季節ごとに、色とりどりの花が咲き誇る。車いすの方にも楽しめる高さ、触れたり、香りを楽しんだりできるガーデンなど、さまざまなアイデアはボランティアの発案で実行されることも多いという。



見る、触れる、感じる。多くの人へ喜びをもたらす あたたかな、人の手に支えられた景観

中央区 [中心部以外]

市立札幌病院ガーデニング活動

緑の景観が街並みや建築物と異なることの一つは、その成長していく姿を見て楽しむことができるということである。また都市の緑は多くの人の手によって育まれることから、緑を通して人と人とのふれあいの機会を増やすという効果もある。

市立札幌病院の庭は、人と人とが緑を介して、ふれあい、やさしさを感じることができるあたたかな空間になっている。多くのボランティアが、管理に手間が必要な球根類や1、2年草類を、また感触を楽しめるハーブ類を病院の周囲にたくさん植えている。これらの植物や園芸資材は、関係者や周辺住民の寄付によるものが多い。あたたかい人の手によって育てられた緑の景観は、季節や一日の変化によって、外来者や入院患者に癒しと安らぎを感じさせてくれる。

市立札幌病院の活動は、これまでの施設や植栽の工夫された景観形成という視点だけでなく、景観形成に多くの人がよい関わり方を持つことによって、さらにより美しい景観が生まれるという可能性を感じさせてくれる好例である。

表彰理由

札幌市立大学デザイン学部
教授 吉田 恵介



ACCESS

中央区北11条西13丁目 市立札幌病院敷地
●JR[桑園駅]下車、徒歩約3分

- 主催者 / 市立札幌病院ボランティアの会「やさしさ・ジェントル」
- 活動 / 平成7(1995)年から

ダシを利かせた深い味わい。札幌で、きしめんの老舗といえ

すすきの時代を含め、創業40年以上を誇る、札幌では珍しいきしめんの専門店。昆布、カツオ節、アジ節、サバ節などで丁寧にとった澄んだダシ、のどごしのよい独特の平たい麺は、老舗の実力を伺わせる味わい。わざわざ噂を聞きつけて遠方から足を運ぶ人もいる人気ぶりだ。ランチセット、定食な

どセットメニューも充実。庶民的な雰囲気だから、気軽に立ち寄ってみたい。まずは基本の「きしめん」(600円)を試してみよう。

名古屋名物きし麺 きし屋
中央区北10条西15丁目 JR桑園駅1F
TEL.011-615-6661



「市立札幌病院」より徒歩約3分

近所
PICK UP!